

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)補助分

数量計算書

令和 2 年 8 月

管径 路線番号

φ200 箕輪町 沢 町営住宅団地内東 町道146号線、他(開削)

163-2

165

L= 148.00 m

(舗装数量調査)

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)補助分

路線番号	人孔番号		路線延長	掘削溝幅	影響幅	路面復旧影響幅	町道インターロッキング舗装						町道部						県道仮復旧						舗装	撤去	舗装	AS舗装版				As殻				備考						
	上流	下流					表層工	表層工	上層	下層	路盤工	路盤工	0.45B.H	0.80B.H	再生密粒	再生密粒	路盤工	造成道路	路盤工	0.80B.H	再生粗粒	路盤工	路盤工	0.45B.H				0.80B.H	再生粗粒	路盤工	路盤工	0.80B.H	路盤工	路盤工	0.80B.H		復旧工	切断工	取壊し工		処分工	
	No.	No.	No.	m	m	m	m	㎡	㎡	㎡	㎡	m ³	m ³	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	m ³	m ³	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡		
	163-2	管止め	163-2-2	10.00	0.95	0.95									9.5		9.5																								町道	
	163-2	163-2-2	165-1	39.00	0.95	0.95									37.1		37.1																								町道	
	165	165-1	舗装界	1.70	0.95	0.95									1.6		1.6																							町道		
	165	舗装界	165-2	4.30	0.95	2.65	3.60								15.5	4.1	4.1																			11.4		0.5		町道		
	165	165-2	165-3	8.00	0.95	2.05	3.00								24.0	7.6	7.6																			16.4		0.7		町道		
	165	165-3	165-4	5.00	0.95	1.55	2.50								12.5	4.8	4.8																		7.8		0.3		町道			
	165	165-4	165-5	16.00	0.95	1.85	2.80								44.8	15.2	15.2																			29.6		1.2		町道		
	165	165-5	166-1	64.00	0.95	2.05	3.00								192.0	60.8	60.8																		131.2		5.2		町道			
	合計	変更													48.2	288.8	140.7																									
		当初		148.00																																		196.4		7.9		

建て込み簡易土留め工

(L = 2.00 m)

(軽量型)

1) 設計条件

1. 管 径 200 mm 2. 管 種 塩ビ管 3. 施工延長 95.00 m
 4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.95 m 6. 掘削深 1.69 m
 7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 30.00 m
 9. トラッククレーン規格 4.9 t吊り

日数算出根拠 30.00m当り

2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = (L × W × H) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = (1.69 - 1.00) m \times 0.95 m \times 30.00 m \div 59.00 m^3/日 = 0.33 日 \textcircled{1}$$

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = (0.20 \div 10.00 m) \times 30.00 m = 0.6 日 \textcircled{2}$$

掘削工合計日数 ①+② 0.93 日

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = (0.95 m \times 0.416 m - 0.037 m^2) \times 30.00 m = 10.75 m^3$$

$$(D3) = 10.75 m^3 / 36.0 m^3/日 = 0.3 日 \textcircled{3}$$

4. 管布設工 (D4) (管 種 : 塩ビ管) (歩掛P93)

$$(D4) = 30.00 \times 0.015 \text{ 人/m/日} = 0.45 日 \textcircled{4}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分) (歩掛P18)

$$\text{埋戻し土量} = 30.00 m \times (1.69 m - 1.416 m) \times 0.95 m = 7.81 m^3$$

$$(D5) = 7.81 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.22 日 \textcircled{5}$$

工 程 表

工 種	日 数		日 数
	5	10	
掘削及び建て込み工	0.93		0.93
基 礎 工	0.78	1.08	0.30
管 布 設 工	0.93	1.38	0.45
引抜き及び埋戻し工	0.93	1.15	0.22
水 替 え 工			0.75

$$\text{損 料 日 数 計} = 95.00 m \div 30.00 m \times 1.35 日 = 4.28 日 \times 1.3 = 5.56 \div 5 日$$

$$\text{水 替 日 数 計} = 95.00 m \div 30.00 m \times \text{日} = \text{日}$$

$$\text{全 体 日 数} = 95.00 m \div 30.00 m \times \text{日}$$

建て込み簡易土留め工

(L = 2.50 m)

(軽量型)

1) 設計条件

1. 管 径 200 mm 2. 管 種 塩ビ管 3. 施工延長 8.00 m
 4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.95 m 6. 掘削深 1.93 m
 7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 8.00 m
 9. トラッククレーン規格 4.9 t 吊り

日数算出根拠 30.00m当り

2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = (L × W × H) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = (1.93 - 1.00) m \times 0.95 m \times 8.00 m \div 59.00 m^3/日 = 0.12 日 \textcircled{1}$$

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = (0.23 \div 10.00 m) \times 8.00 m = 0.18 日 \textcircled{2}$$

掘削工合計日数 ①+② 0.30 日

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = (0.95 m \times 0.416 m - 0.037 m^2) \times 8.00 m = 2.87 m^3$$

$$(D3) = 2.87 m^3 / 36.0 m^3/日 = 0.08 日 \textcircled{3}$$

4. 管布設工 (D4) (管 種 : 塩ビ管) (歩掛P93)

$$(D4) = 8.00 \times 0.015 \text{ 人/m/日} = 0.12 日 \textcircled{4}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分) (歩掛P18)

$$\text{埋戻し土量} = 8.00 m \times (1.93 m - 1.416 m) \times 0.95 m = 3.91 m^3$$

$$(D5) = 3.91 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.11 日 \textcircled{5}$$

工 程 表

工 種	日 数		日 数
	5	10	
掘削及び建て込み工	0.30		0.30
基礎工	0.26	0.34	0.08
管 布 設 工	0.30	0.42	0.12
引抜き及び埋戻し工	0.30	0.41	0.11
水 替 え 工			0.20

$$\text{損 料 日 数 計} = 8.00 m \div 8.00 m \times 0.44 日 = 0.44 日 \times 1.3 = 0.57 \text{ 日}$$

$$\text{水 替 日 数 計} = 8.00 m \div 8.00 m \times \text{日} = \text{日}$$

$$\text{全 体 日 数} = 8.00 m \div 8.00 m \times \text{日}$$

建て込み簡易土留め工

(L = 3.00 m)

(軽量型)

1) 設計条件

1. 管 径 200 mm 2. 管 種 塩ビ管 3. 施工延長 45.00 m
4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.95 m 6. 掘削深 2.52 m
7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 30.00 m
9. トラッククレーン規格 4.9 t吊り

日数算出根拠 30.00m当り

2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = (L × W × H) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = (2.52 - 1.00) m \times 0.95 m \times 30.00 m \div 59.00 m^3/日 = 0.73 \text{ 日 } \textcircled{1}$$

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = (0.27 \div 10.00 m) \times 30.00 m = 0.81 \text{ 日 } \textcircled{2}$$

掘削工合計日数 ①+② 1.54 日

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = (0.95 m \times 0.416 m - 0.037 m^2) \times 30.00 m = 10.75 m^3$$

$$(D3) = 10.75 m^3 / 36.0 m^3/日 = 0.3 \text{ 日 } \textcircled{3}$$

4. 管布設工 (D4) (管 種 : 塩ビ管) (歩掛P93)

$$(D4) = 30.00 \times 0.015 \text{ 人/日} = 0.45 \text{ 日 } \textcircled{4}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分) (歩掛P18)

$$\text{埋戻し土量} = 30.00 m \times (2.52 m - 1.416 m) \times 0.95 m = 31.46 m^3$$

$$(D5) = 31.46 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.87 \text{ 日 } \textcircled{5}$$

工 程 表

工 種	日 数		日 数
	5	10	
掘削及び建て込み工	1.54		1.54
基礎工	1.39	1.69	0.30
管 布 設 工	1.54	1.99	0.45
引抜き及び埋戻し工	1.54	2.41	0.87
水 替 え 工			0.75

$$\text{損 料 日 数 計} = 45.00 m \div 30.00 m \times 2.36 \text{ 日} = 3.54 \text{ 日} \times 1.3 = 4.6 \text{ 日}$$

$$\text{水 替 日 数 計} = 45.00 m \div 30.00 m \times \text{日} = \text{日}$$

$$\text{全 体 日 数} = 45.00 m \div 30.00 m \times \text{日}$$

副管数量計算書

工区名 R2 特環1工区(補助)
実施副管設置工2箇所

計画副管設置工0箇所

(標準実施)		(1箇所当たり)		
名称	略図及び算式	数量		
PE直管 (φ150)	(標準計画)本管φ200mm 副管150mm PE直管の管底差(流入流出管)からの控除長			
	① 副管と流出管の管底差	= 0.050 m		
	② 副管 (半径) 0.15 / 2	= 0.075 m		
	③ 90°曲管(90°ST)	Z = 0.170 m		
	④ 可撓継手支管	= 0.110 m		
	計 = 0.405 m			
	管番	人孔番号	管底差	直管長
	163-2	163-2-2	0.675	0.405
	165	166-1	0.708	0.303
	計			0.573m
計 2箇所		1.383m	0.573m	
1箇所当たり平均長		1.383 / 2 =	0.692m	
90°曲管	90°ST φ150		1 個	
型枠工	(平均長+0.17+0.13-0.110-0.10) × (0.45 × 2 + 0.30) (0.692+0.17+0.13-0.110-0.10) × (0.45 × 2 + 0.30)		0.94 m ²	
コンクリート工	(平均長+0.17+0.13-0.110-0.10) × 0.45 × 0.30 (0.692+0.17+0.13-0.110-0.10) × 0.45 × 0.30		0.11 m ³	

(計画)		(1箇所当たり)		
名称	略図及び算式	数量		
PE直管 (φ150)	(標準計画)本管φ200mm 副管150mm PE直管の管底差(流入流出管)からの控除長			
	① 副管と流出管の管底差	= 0.050 m		
	② 副管 (半径) 0.15 / 2	= 0.075 m		
	③ 90°曲管(90°ST)	Z = 0.170 m		
	④ 可撓継手支管	= 0.0795 m		
	⑤ 計画副管控除	= 0.300 m		
	計 = 0.675 m			
	管番	人孔番号	管底差	直管長
	計			0.675m
	計			0.675m
1箇所当たり平均長			m	
90°曲管	90°ST φ150		個	
仮止めキャップ	φ150		個	
型枠工	(平均長+0.17+0.13-0.50) × (0.45 × 2 + 0.30) (0.000+0.17+0.13-0.50) × (0.45 × 2 + 0.30)		m ²	
コンクリート工	(平均長+0.17+0.13-0.50) × 0.45 × 0.30		m ³	

既設計画副管設置工0箇所

(標準実施)		(1箇所当たり)	
名称	略図及び算式	数量	
分岐付可撓継手支管	φ200 × φ150		個

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

数量計算書

令和 2 年 8 月

管径 路線番号

φ200 箕輪町 沢 町営住宅団地内東 町道146号線、他(開削)

163-2

L= 10.00 m

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分
 数量 総括表
 内径 200 mm 下水道用硬質塩化ビニール管

上段:変更

下段:当初

管路延長 m	管渠延長 m	基礎延長 m	管材料					付帯工					本管土工																						
			塩化ビニール管	直管	可継継手 上	可継継手 下	MH可継継手 φ200	支 取 付 工	舗装切断工	舗装版取り壊し工	As殻処分工			掘削工			砂基礎工			砂埋戻工(管上10cm~30cm)			発生土埋戻工(管上10cm~30cm)			埋戻工			残土処分工						
			塩化ビニール管	直管	可継継手 上	可継継手 下	MH可継継手 φ200	支 取 付 工	舗装切断工 t=15cm迄	舗装版取り壊し工 t=30cm迄	As殻処分工 As舗装 t=30cm迄	As殻処分工 As舗装 t=30cm迄	As殻処分工 As舗装 t=15cm迄	As殻処分工 As舗装 t=30cm迄	掘削工 機種 0.28B.H	掘削工 機種 0.45B.H	掘削工 機種 0.80B.H	砂基礎工 投入機種 0.28B.H	砂基礎工 投入機種 0.45B.H	砂基礎工 投入機種 0.80B.H	砂埋戻工(管上10cm~30cm) 投入機種 0.28B.H	砂埋戻工(管上10cm~30cm) 投入機種 0.45B.H	砂埋戻工(管上10cm~30cm) 投入機種 0.80B.H	発生土埋戻工(管上10cm~30cm) 投入機種 0.28B.H	発生土埋戻工(管上10cm~30cm) 投入機種 0.45B.H	発生土埋戻工(管上10cm~30cm) 投入機種 0.80B.H	埋戻工 発生土 0.28B.H積込	埋戻工 発生土 0.45B.H積込	埋戻工 発生土 0.80B.H積込	残土処分工 0.28B.H積込	残土処分工 0.45B.H積込	残土処分工 0.80B.H積込			
10.00	9.63	10.00		2.41					20.0	9.5			0.4		14.5			3.6								1.9			5.4			6.4			
10.0	9.6	10.0		2.4										14			3.6				1					5			6						

建込簡易土留工										
シングルレール									ダブルレール	
H=1.5m	H=2.0m	H=2.5m	H=3.0m	H=3.5m	H=4.0m	H=4.5m	H=5.0m	H=5.5m	H=6.0m	
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
										10.00
										10.0

付帯工															
東道仮復旧															
表層工	路面補修工	上層路盤工	下層路盤工	路盤工	路盤工	表層工	上層路盤工	上層路盤工	下層路盤工	砂利道	舗装切断工	舗装取壊工		As殻処分工	
再生粗粒 t=5cm	t=2cm	M25-0 t=15cm	CR40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm	RC40-0 t=35cm	As20F t=4cm	M25-0 t=10cm	M25-0 t=15cm	RC40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm	As舗装 t=15cm迄	AS舗装 t=15cm迄	AS舗装 t=30cm迄	AS舗装 t=15cm迄	AS舗装 t=30cm迄
m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m ³	m ³	
						9.5	9.5		9.5						

加重平均 深	1.57													1.57
-----------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------

1号組立マンホール材料																										
直壁ブロック											躯体ブロック												底版			
T-14組	T-25組	20mm筒所	40mm筒所	5cm個	10cm個	15cm個	30cm個	45cm個	60cm個	30cm個	60cm個	90cm個	120cm個	150cm個	180cm個	210cm個	240cm個	60cm個	90cm個	120cm個	150cm個	180cm個		210cm個	240cm個	個

削孔費		ブロック据付工			底部工			副管工(外副管)						
本管部	取付管部	1.2<H	3.0<H	標準	基礎のみ	インバートのみ	平均延長	設置数	取付管用片受け直管	可継継手支管	カラー管	曲管	砕石基礎工	
VU 150mm 筒所	VU 200mm 筒所	VU 150mm 筒所	≤3.0 平均 筒所	筒所	筒所	筒所	m	筒所	150mm m	200×150 本	150mm 本	150mm 本	筒所当り m ²	

小口径マンホール				
立管長 200mm	防護蓋 T-14	防護蓋 T-25	その他部材等	
(m)	(組)	(組)	小口径マンホール数量表による	
0.81	1	1		

汚水樹設置及び取付管工																					
汚水樹設置個数	鉄蓋	塩ビ蓋	取付管平均長さφ150	掘削工	砂基礎工	砂埋戻工	発生土埋戻工	埋戻工	残土処分工	舗装切断工	舗装取壊工	As殻処分工	路面補修工	表層工	上層路盤工	下層路盤工	砂利道	表層工	上層路盤工	取付管土留工	
			m	機種 0.28B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.28B.H	RC40-0 0.28B.H	良質土 0.28B.H	発生土 0.28B.H	0.20B.H積込 t=15cm迄	As舗装 t=30cm迄	As舗装 t=15cm迄	RC40-0 t=10cm	As20F t=4cm	M40-0 t=15cm	RC40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm			筒所 H=2.00
1	1		2.90	3.0	0.6		0.5			1.3	1.1	2.34	1.6	0.1	1.6	1.5	1.8				m
1	1		2.9	3	0.6		0.5			1	1										

付帯工集計(本管部+取付管部+影響部)															
舗装切断工		舗装版取り壊し工		As殻処分工		投料費	表層工	再生粗粒	表層工	上層路盤工	上層路盤工	下層路盤工	砂利道	埋設表示シート	埋設表示テープ
As舗装 t=15cm迄	AS舗装 t=30cm迄	AS舗装 t=15cm迄	AS舗装 t=30cm迄	AS舗装 t=15cm迄	AS舗装 t=30cm迄	As舗装	再生粗粒 t=5cm	m ³	As20F t=4cm	M25-0 t=10cm	M25-0 t=15cm	RC40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm	巾40cm	巾15cm
m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	t	m ³		m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m
22.34		11.10		0.50		1.2			11.1	11.00		11.3			
22		11		0.5		1.2			11	11		11			

付帯工(掘削部外路盤・アスカープライン)											
掘削工	残土処分工	路盤工	As殻処分工	投料費等	ライン工			VS削溝			
M25-0 t=10cm				As舗装 塊処分費	W=15cm	W=30cm	W=45cm	W300×300 H445			
m ³	m ³	m ³	m ³	t	m	m	m	筒所			

(土工数量調書) 令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

内径 200 mm下水道用硬質塩化ビニール管																																										
路線番号	人孔番号		路線延長 m	人孔外径の減長 m	基礎延長 m	掘削溝幅 m	掘削深 m			付帯工				土 工															備考													
	上流 No.	下流 No.					上流 m	下流 m	平均 m	As舗装		舗装版取壊し工		As殻処分工		掘削工			砂基礎工			砂埋戻工(管上10cm~30cm)			発生土埋戻工(管上10cm~30cm)			埋戻工						残土処分工								
										切断工		As舗装	As舗装	As舗装	As舗装	機種	機種	機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	発生土	発生土		発生土	砕石	砕石	砕石	積込機種	積込機種	積込機種						
	t<15 cm	t=30 cm					t=15 cm 迄	t=30 cm 迄	t=15 cm 迄	t=30 cm 迄	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H		0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H							
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m													
No.	No.	No.																																								
	163-2-1	管止め	10.00		10.00	0.95	1.54	1.59	1.57	20.0	9.5	0.4		14.5			3.6													1.9				5.4					6.4			町道
合計	変更 当初		10.00		10.00					20.0	9.5	0.4		14.5			3.6																		5.4				6.4			

建て込み簡易土留め工

(L = 2.00 m)

(軽量型)

1) 設計条件

1. 管 径 200 mm 2. 管 種 塩ビ管 3. 施工延長 10.00 m
 4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.95 m 6. 掘削深 1.57 m
 7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 10.00 m
 9. トラッククレーン規格 4.9 t 吊り

日数算出根拠 10.00m当り

2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = (L × W × H) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = (1.57 - 1.00) m \times 0.95 m \times 10.00 m \div 59.00 m^3/日 = 0.09 日 \textcircled{1}$$

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = (0.20 \div 10.00 m) \times 10.00 m = 0.2 日 \textcircled{2}$$

掘削工合計日数 ①+②

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = (0.95 m \times 0.416 m - 0.037 m^2) \times 10.00 m = 3.58 m^3$$

$$(D3) = 3.58 m^3 / 36.0 m^3/日 = 0.1 日 \textcircled{3}$$

4. 管布設工 (D4) (管 種 : 塩ビ管) (歩掛P93)

$$(D4) = 10.00 \times 0.015 \text{ 人/m/日} = 0.15 日 \textcircled{4}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分) (歩掛P18)

$$\text{埋戻し土量} = 10.00 m \times (1.57 m - 1.416 m) \times 0.95 m = 1.46 m^3$$

$$(D5) = 1.46 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.04 日 \textcircled{5}$$

工 程 表

工 種	日 数		日 数
	5	10	
掘削及び建て込み工	0.29		0.29
基 礎 工	0.24	0.34	0.10
管 布 設 工	0.29	0.44	0.15
引抜き及び埋戻し工	0.29	0.33	0.04
水 替 え 工			0.25

$$\text{損 料 日 数 計} = 10.00 m \div 10.00 m \times 0.40 日 = 0.40 日 \times 1.3 = 0.52 \text{ 日}$$

$$\text{水 替 日 数 計} = 10.00 m \div 10.00 m \times \text{日} = \text{日}$$

$$\text{全 体 日 数} = 10.00 m \div 10.00 m \times \text{日}$$

塩ビ製小口径マンホール

路線 No.	マンホール No.	マンホール 深 さ	立管控除長	所用立管長	流入・流出 落 差	落差調整管 所用長	平面角度	管勾配	
								上流 (%)	下流 (%)
163-2	163-2-1	1.43	0.62	0.81			180	5	10
Σ	1			0.81					

塩ビ製小口径マンホール

路線 No.	マンホール No.	インバート φ150 - 300												(特殊)	マンホール立管										V型自在 継手 20SR-V	落差 調整管 φ150× 1.0m	90° 曲管 90ST φ150	蓋・保護鉄蓋 ・沈下防止板				その他材料 ・備考													
		(曲り)						(合流)							立管φ300×					自在受口立管φ300×								保護 鉄蓋	沈 下 防 止 板	内 蓋	塩 ビ 製 蓋	異 径 ソ ケッ ト	ゴ ム 輪 受 口	受 口 プ ラ グ											
		起 点	ス ト レ ー ト	ロ ッ プ	15 L	30 L	45 L	60 L	75 L	90 L	45 Y	60 Y	90 Y		45 W L	0.6	0.9	1.2	1.5	2.0	2.5	0.6	0.9	1.2											1.5	2.0	2.5	φ150							
163-2	163-2-1																																					1	1	1				1	1
Σ																																						1	1	1				1	1

(汚水柵及び取付管工集計表 町道造成部)

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

名 称	規格寸法	計 算 式	数 量	名 称	規格寸法	計算式	数 量
鉄蓋(内蓋共)	重車用	取付管数量調書より	組	掘 削 工	油圧式0.20m3級B.H	3.04×1	3.0 m ³
鉄蓋(内蓋共)	軽車用	取付管数量調書より	1 組	砂基礎工	洗砂(投入機種0.20B.H)	0.62×1	0.6 m ³
標 準 蓋		取付管数量調書より	個	発生土 埋戻工管頂10cm~30cm	洗砂(投入機種0.20B.H)	0.46×1	0.5 m ³
汚水柵(三方向流入タイプ)	横型φ200-150×100	取付管数量調書より	1 個	埋 戻 工	発生土		m ³
汚水柵(三方向流入タイプ)	縦型φ200-150×100	取付管数量調書より	個	埋 戻 工	良質土		m ³
ゴム製可撓支管	RVRφ200mm×φ150mm(90°)	取付管数量調書より	個	埋 戻 工	発生土	1.26×1	1.3 m ³
支管取付工	φ200mm×150mm	取付管数量調書より	箇所	残土処分工	一般土砂	1.13×1	1.1 m ³
自在曲管	SRφ150mm×45°~60°	取付管数量調書より	個	As舗装切断工	t<15cm	2.34×1	2.34 m
曲 管	SRφ150mm×90°(ST)	取付管数量調書より	個	舗装版取壊工	アスファルト	1.55×1	1.55 m ³
可撓継手	φ150mm用	取付管数量調書より	組	As殻処分工	油圧式0.35m3級B.H t=15cm迄	0.06×1	0.06 m ³
プレーンエンド直管	φ150mm L=4m	取付管数量調書より	m	路面補修工	CR25-0 t=10cm		m ²
プレーンエンド直管	φ200mm L=4m	取付管数量調書より	0.82 m	表 層 工	町道アスファルト舗装 t=4cm	1.55×1	1.55 m ²
取付管布設工	φ150mm	$2.90 \times 1+0$	2.90 m	上層路盤工	M40-0 t=15cm	1.50×1	1.5 m ²
取付管用片受け直管	φ150mm L=4m	$(2.90 \times 1+0) \div 4$	0.73 本	下層路盤工	CR40-0 t=25cm	1.79×1	1.8 m ²
				路 盤 工	CR40-0 t=4cm		m ³

(取付管1箇所当たり数量計算調書 町道造成部)

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

取付管数量調書より

官地部平均掘削延長L	2.00m
平均水路幅W1	0.35m
本管平均掘削幅B/2	0.48m
既設本管平均掘削深H	1.57m
平均汚水樹深H1	1.10m
取付管勾配i	20‰
宅地部平均掘削延長L7	1.00m
本管平均土被りh	1.254m
取付管延長L4 $\sqrt{(H3^2+L3^2)}$	$\sqrt{(0.154^2+2.90^2)}=2.90m$
樹土工本管側掘削深H4 $H2+L5 \times i$	$1.20+2.42 \times 20‰=1.25m$
樹土工平均掘削深H5 $(H2+H4)/2$	$(1.20+1.25)/2=1.23m$

種別	計算式	計算	数量
掘削工	$(B4+B9)/2 \times (H5-H6) \times L1$ $+(B4+B3)/2 \times H5 \times (L7+0.1)$	$(0.600+1.314)/2 \times (1.23-0.04) \times 1.52+(0.600+1.338)/2 \times 1.23 \times (1.00+0.1)$	3.04 m ³
砂基礎工	$[(B4+B5)/2 \times H12$ $-取付管断面積] \times L6$	$[(0.600+0.819)/2 \times 0.365-0.021] \times 2.62$	0.62 m ³
発生土埋戻工 管頂10cm ~30cm	$[(B5+B6)/2 \times H10] \times L6$	$[(0.819+0.939)/2 \times 0.20] \times 2.62$	0.46 m ³
碎石埋戻工			m ³
良質土埋戻工			m ³
発生土埋戻工	$(B6+B7)/2 \times H9 \times L1$ $(B6+B3)/2 \times H11 \times (L7+0.1)$	$[(0.939+1.104)/2 \times 0.275] \times 1.52+(0.939+1.338)/2 \times 0.665 \times (1.00+0.1)$	1.26 m ³
残土処分工	掘削工-発生土埋戻工/0.9	$3.04-(0.46+1.26)/0.9$	1.13 m ³
As舗装切断工	$(L2-影響幅) \times 2$	$(1.17-0.00) \times 2$	2.34 m
アスファルト 舗装版取壊工	$(B9+B2)/2 \times (L2-影響幅)$	$(1.314+1.338)/2 \times (1.17-0.00)$	1.55 m ²
As殻処分工	$(B9+B2)/2 \times H6 \times (L2-影響幅)$	$(1.314+1.338)/2 \times 0.04 \times (1.17-0.00)$	0.06 m ³
路面補修工			m ²
表層工	$(B9+B2)/2 \times (L2-影響幅)$	$(1.314+1.338)/2 \times (1.17-0.00)$	1.55 m ²
上層路盤工	$(B8+B9)/2 \times (H7-H6) \times (L1-W1)$	$(1.254+1.314)/2 \times (1.52-0.35)$	1.50 m ²
下層路盤工	$(B7+B8)/2 \times (H8-H7) \times L1$	$(1.104+1.254)/2 \times 1.52$	1.79 m ²
路盤工			m ³

(取付管数量調書 町道造成部 令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

路線 番号	人孔番号		所有者名	官地 延長 m	民地 延長 m	水路 等の 減長 m	本管 掘削 幅の 1/2 m	取付 位置	鉄蓋 内共 (重車)	鉄蓋 内共 (軽車)	標準 蓋 φ200 個	汚水 樹 横型	汚水 樹 縦型	プレーン エンド 直管 φ200 m	プレーン エンド 直管 φ150 m	樹の 深さ m	有効 樹深 m	ゴム 製 可 撓 支 管 φ150 個	自在 曲管 φ150 本	S T 曲管 φ150 本	可 撓 継 手 φ150 組	備 考	
	上 流 No.	下 流 No.							鉄蓋 内共 (重車) 組	鉄蓋 内共 (軽車) 組		横型 個	縦型 個	φ150 個	φ150 本			φ150 本	φ150 組				
163-2	163-2-1	163-2-2	森谷 一貴	2.00	1.00	0.35	0.48	左		1		1		0.82		1.10	1.10						
合計	変更 当初		1箇所	2.00 2.00	1.00 1.00	0.35 0.35	0.48 0.48			1		1		0.82 0.82		1.10 1.10	1.10 1.10						

取付管数量算出標準断面図 (造成地内 新設道路)

